

黒磯ロータリークラブ会報

国際ロータリー会長：ゴードンR. マッキナリー
 第 2550 地区ガバナー：三井福次郎
 事務所：〒321-0945 宇都宮市宿郷5-21-15
 ベルヴィ宇都宮内
 TEL：028-651-2550
 FAX：028-651-2551
 Email：m2550@agate.plala.or.jp



世界に希望を生み出そう

会長：稲垣政一 幹事：井出法
 事務局：那須エステート(株)
 代表取締役 井出法
 〒325-0061 那須塩原市末広町53
 TEL:0287-64-0001・FAX:0287-64-1388
 E-mail:osamu.ide@nasuestate.jp
 例会：国民の祝日を含まない週の水曜日
 12:30 - 13:30
 割烹石山 那須塩原市本町 5-5

第3020回 稲垣年度第20回例会会報 2024-1-17 司会 渡辺裕雄会員

会長挨拶 稲垣政一会長



先週の新年会では、恒例のフォトコンテスト、黒磯高等学校のプラスバンドによる演奏、新年のプレゼント抽選会、お餅つきなどで楽しい時間を過ごすことができました。ご尽力いただいた、親睦委員会、広報委員会、SAAの皆様にご心から感謝申し上げます。

さて、今月は職業奉仕月間です。1月5日に井出幹事から配信された「職業奉仕月間 リソースのご案内」を皆様ご覧になりましたでしょうか。

この冊子は、「ロータリーの目的」の第2項である「職業奉仕」の実践を総合的に紹介しています。具体的には「職業奉仕」をどのように実践できるのか、その哲学的な概念から成り立ち、実践例、関連リソースの案内までが網羅されています。

「ロータリーの目的」の第2項とは、「職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること」を意味します。

私事で恐縮ですが、次年度から第2550地区第一グループのガバナー補佐を務めることにな

りました。その任務を全うするため、基本から学ぶガバナー補佐研修会に5回参加予定です。現在までに3回の研修を受講し、加えて自己学習の一環として「マイロータリー」のWeb研修であるラーニングセンターのカリキュラムを受講しています。今回配信された「職業奉仕月間のリソース案内」は、ロータリーの基本を理解する上で大いに参考になりました。

「職業奉仕」とは、自分の職業を通じて社会に貢献することを意味します。これが「社会奉仕」と何が違うのか、私はその違いが不明瞭でしたが、今回の「職業奉仕月間 リソースのご案内」を読むことで、その区別がよりはっきりしました。

社会奉仕は、一般的にボランティア活動や地域社会への直接的な貢献を指し、職業に直接関連しない場合が多いです。一方で、職業奉仕は、個々のロータリアンが自分の専門知識やスキルを活用して、職業を通じて社会に貢献することに重点を置いています。

具体的には、職業奉仕は次のような方法で実践されます。会員は例会で自分の職業について話し合い、専門知識やスキルを共有します。これにより、職業間で学び合う場が生まれます。さらに、地域社会のプロジェクトに職業スキルを活かして具体的に貢献することも重要です。また、高潔な姿勢で仕事を行い、倫理的な行動を通じて他者に良い影響を与えることも大切です。そして、若者のキャリア支援や能力開発に力を入れ、次世代の育成に貢献します。

その結果、個人の成長とロータリークラブ全体の活動の質向上に寄与します。ロータリアンの職業生活を豊かにし、倫理的な仕事の価値を高めることを目指しています。ロータリーの四つのテストと共に、職業奉仕は社会に対する正の影響をもたらす強力な手段となります。したがって、職業奉仕はロータリアンにとって社会で果たす

出席報告 高木茂委員

(出席規定の免除会員数8名)

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU数	修正出席率
本日 1月17日	35 (8)	26 (3)	9 (5)	86.7%	—	—
前回 1月10日	35 (8)	29 (5)	6 (3)	87.9%	1	90.9%
前々回 12月20日	35 (8)	27 (3)	8 (5)	90.0%	2	96.7%

欠席の場合は前々日の正午までに次のいずれかにご連絡を。電話 62-0128、FAX62-1076 (以上石山桂子)
 メール gavn2bz9k@sound.ocn.ne.jp

べき重要な役割です。ロータリアンはそれぞれの専門知識やスキルを活用し、より良い社会を築くために貢献することを目指しています。この活動はロータリークラブの国際的な奉仕の基盤となっており、ロータリアンが持つ高い倫理観と社会への貢献の精神を象徴しています。

・村山茂会員 会員組織委員

幹事報告 井出法幹事



・高木茂会員 ロータリー情報委員会委員

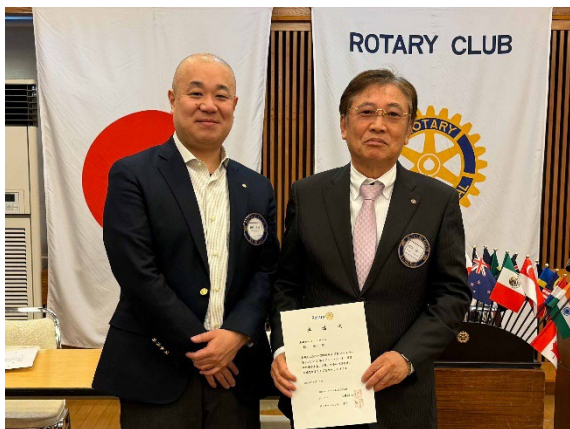
- ・本日例会終了後に理事役員会を開催致します。理事役員の方はお残りください。
- ・「能登半島地震災害義援金のお願い」につき回覧をしています。
- ・第1グループ2023-24年度IM(インターシティーミーティング)が、2/25(日)14時～18時、勝田屋(大田原)にて開催されます。出欠等の確認を1月中に行いますのでよろしくお願い致します。
- ・次年度地区委員「地区チーム研修セミナー」のご案内(2/18開催)が届きました。次年度の地区委員の村山茂会員、高木茂会員へお渡ししています。



**委員会報告 安藤譲治
副会長兼クラブ奉仕委員長**

**○ 2024-25年度 第2550地区
地区委員委嘱状の授与**

- ・稲垣政一会員 第1グループガバナー補佐
運営委員
国際大会参加推進委員
危機管理委員



○ 会計 時庭稔会員

- ・年会費後期分 会員全員 90,000円
- ・観月会費 出席者 4,000円
- ・クリスマス会費
出席者 中学生以上 4,000円
小学生 3,000円
未就学児 2,000円
- ・旅行会費 旅行会会員 9,000円



○ 高木慶一会員



2013-14年私が新世代委員長(青少年奉仕)の時、1年交換学生で台湾から受け入れた李宜蓁Nicolが日本企業に入社しています。22日に黒磯に来て23日に帰ります。例会出席はできませんがホストファミリーの皆さんと懇談できる機会を造りたいと思っています。決まりましたらメールでご案内します。ホストファミリー以外の方にもご案内しますので参加できる方はご返事よろしく願いいたします。

本日の卓話
クラブ史料委員会 植竹一裕委員長



クラブ史料委員会は大島三千三さんと私の2名で構成されており、今年度の計画として

- 1.クラブ史料の整備・保管
- 2.クラブ備品等の保管・管理

3.保管庫内の整理整頓

以上の3項目を計画としておりました。

稲垣年度スタートの時期に備品等の棚卸しを行ない、庫内の整理整頓をしております。委員会としての計画は遂行できていると判断しております。

上期を振り返った時に下期については各委員会のサポートする旨、皆さんにお話をさせて頂いております。各委員会からの要請をお待ちしております。

さて、卓話の時間を頂戴しておりますので委員会以外のお話を少しさせていただきます。

皆さんの年末年始は如何だったでしょうか？私の場合は例年と異なった正月を過ごしました。

通常弊社は12月30日仕事納め1月4日仕事始めなのですが、その1月4日は会社としての初詣と、懇意にさせて頂いている農家さんへの初荷を行ない、その後会社で新年会を開催しお昼過ぎに解散。実際の業務開始は1月5日となっております。

残念ながらコロナ感染拡大した4年前からは新年会を中止とし、4日を休みに変更して5日から初詣の後、通常業務をしております。今年の場合は、曜日の関係で12月30日から1月8日までの10連休と致しました。社会人になってからこれほど長いお休みは経験がありません。

今年の正月はご存知の方も多いと思いますが、娘婿はベルギー人で彼の両親が12月21日から1月3日まで黒磯に来ており国際色豊かな正月となりました。彼らの渡航目的は唯一孫に会うため。次はいつ会えるか分かりませんから、私としては出来るだけ娘夫婦の住まいには顔を出さないようにしておりました。しかし、彼らも気を使って声を掛けてくるので、賑やかなひとときを過ごしたのですが、会話が成り立たない事には苦労しました。彼らも日本の年末・年始の過ごし方に興味があって、年越しそば・お節料理やお雑煮といった食事を年末年始に食する意義など、日本独特の食事や行事に興味があったらしく、年末に社員の自宅で餅つきの誘いを受けた時には、大喜びで見学に行き実際に餅つきも体験しました。その後も色々質問攻めにあい正直閉口しておりました。その内容も時折娘が通訳してくれますが、初めのうちはゆっくり英語で質問するので娘がいない場所でも大汗かきながらジェスチャーを交えて答えました。しかし、途中から彼らの母国語であるオランダ語で話されるともう無理です。何を言っているのか全く分かりません。また、質問の内容も除夜の鐘をつく理由や干支の意味や初詣の所作、破魔矢・お守り・おみくじと詳しく質問されタジタジとなっております。3日の早朝帰国の途につきましたが、何やら開放感を味わった気分となりました。

彼らにとって今回の来日目的はたったひとつ、孫との憩いの時間を過ごすこと。今度いつ会えるか分かりません。小旅行も行かないで朝から

晩まで孫の側を離れませんでしたから、素敵な時間を過ごせたことと思います。良い思い出なら良かったのですが、あの石川県を中心にした能登半島の地震です。黒磯でもゆっくり長く揺れましたが、娘婿によると日本と異なりベルギーでは地震の揺れを経験する事は皆無で、おそらく人生初の事だったようです。嫌な思い出として残らない事を願うばかりです。

私の息子が、液状化現象で地盤沈下した新潟市西区の隣、中央区にあるマンションの11階に暮らしており心配しておりましたが、どうやら殆ど揺れを感じることも無かった様で胸を撫で下ろしたところです。幸いな事と言うと失礼になるかもしれませんが、石川県や新潟県内にある弊社と取引のある肥料メーカーや業者も大きな被害が無かった旨連絡が入り安心致しております。

天変地異という言葉は大袈裟かもしれませんが。「天災は忘れた頃にやってくる」という言葉がある様に、万が一を考えて今のうちにできる準備を怠らない事を胆に命じないといけません。この事は天災だけではなく、あらゆる分野で考えないといけない事だと思います。多少間違っているかもしれませんが、それぞれの会社が取引をしている限り取引先の為にも会社を潰す様な事があってはならないと思います。今が良いのではなく、次世代へラクビーでいうところの受け取りやすいバックパスをするという使命があります。万が一を考え準備を怠らない事が大切と考えます。

日経コンサルティングによれば、売上高が年商100万円以上の情報が確認されている企業という条件で、長寿企業ランキングとして創業100年以上の企業が世界で74,037社あるそうです。そのうち日本は約50%の37,085社を占めており、2位のアメリカの約30%を大きく引き離しております。同様に創業200年以上となると、世界で2,129社あり、日本は約65%の1,388社を占めており世界の中では次世代へのパスがうまく出来ていると考えていいでしょう。

弊社も明治20年創業ですから137年目を迎えました。しっかりと地元のおお客様にご奉仕を続け次の世代へ受け取りやすいパスを投げられる様に努めます。

事業だけではなく、この黒磯クラブに於いても同じ事が考えられます。会員の年齢バランスを見ると70歳代を中心になっています。この事が悪い事だとは思いますが、問題なのは30～50歳代の会員数が非常に少ない事です。このままでは、黒磯クラブの脈々と続いてきた伝統が消えてしまう可能性もあります。今まで以上に会員の増強が求められており、特に50歳代以下の年齢層にロータリーの奉仕の精神を理解して入会もらう必要があります。平成の時代から令和になって高齢化や人口減少の傾向は拍車がかかり、物価高騰の波は止まっておりません。その様な中で会社として新規社員を募集しても一部の

業種を除いて応募者が極めて少ない中、現場を持ちながら会社を運営する経営者も少なくありません。今まで通りの昼の例会では業務優先となると参加したくても出来ない判断され、参加者に制限がかかってしまいます。今までも色々な方にお声掛けしても新会員に結びつく事は少なかったのですから、新入会員を獲得するためには、例会運営の方法を少し違う角度で見直してみる事も必要だと思います。例えば藤崎次年度会長のお考えを少しだけ聞かせてもらいましたが、次年度は夜間例会を更に増やす事を検討しているとの事。確かに、昨年5月にコロナが第5類となり、以前の生活が戻りつつある事を実感している方も多いでしょう。昨年末の忘年会や今年の新年会も徐々に開かれる様になっています。日中が忙しい経営者も仕事終了後であれば時間は取りやすいと思います。例会の内容を大きく変更するのではなく、例会の時間帯を昼から夜に移す事で、黒磯クラブの会員増強する一つの手段になると思います。他にもロータリーは基本異業種の集まりです。自分自身の視野が広がる事も間違いありません。何か勧誘する手段として、うまくお伝えする事ができればと思います。

三人寄れば文殊の知恵で、メンバー全員で考えれば、もっと他の新しい方法も見つける事が出来ると思いますし、しなければなりません。

我々全員で様々な手段を考えて次世代の仲間を増やしていくことが必要です。

我々現会員は次の世代を勧誘し新しい仲間を増やすという大切な使命がある事をもう一度思い出して仲間を増やしていきましょう。

出席報告 高木茂委員



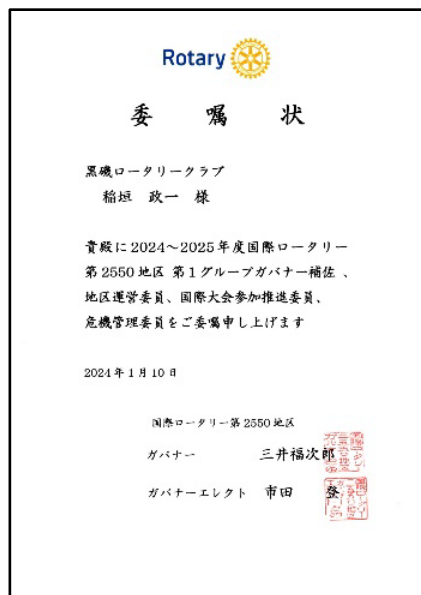


田中徹会員

稲垣政一会員 楽しい新年会ありがとうございました。
 永山三芳会員 今年も宜しくお願いします。
 和気勝利会員 新年会でのフォトコンテスト、賞をたくさんいただきありがとうございます。
 (妻が…?)
 石山桂子会員 誕生祝いありがとうございます。
 瀧田雅仁会員 (同上)



SAA 渡辺裕雄会員



1月17日欠席者 (敬称略)
 荒井昌一 泉道夫 瀬尾紀夫 片田航介
 檜山達郎 大島三千三 吉光寺政雄 澤田吉夫
 戸野俊介

前回1月10日分メイクアップ (敬称略)
 村山茂

前々回12月20日分メイクアップ (敬称略)
 北島大輔 石山桂子

次回例会 令和6年1月24日 担当 会員増強委員会

近隣クラブ例会日

○火曜日 西那須野/いとう屋
 ○木曜日 大田原中央/勝田屋記念会館

0287-36-0028
 0287-23-4165

近隣クラブ例会日

○木曜日 大田原/ホテル花月
 ○金曜日 黒羽/ホテル花月

0287-54-1105
 0287-54-1105

会報委員会：瀧田雅仁・吉光寺政雄・秋間忍・永山三芳